



# たいしも通信

みなさま、新年あけましておめでとうございませう。

個人的にはあまりめでたくないぞ、という方もあるとは思いますが、とりあえずウクライナのように頭上を砲弾飛び交うこともなく平和に新年を迎えることができ、それは今この瞬間にも任務に就いておられる現職自衛官のおかげであるということに思いを馳せ、まずは感謝したいと思えます。

今回は自衛隊の装備シリーズその6、空自編2周目です。本来は装備ということからPAC3でもと考えたのですが、新年とすることもあり、少し逸れますが、多少なりとも景気の良い(!?)話をしてみたいと思えます。

## ◆航空宇宙自衛隊！

昨年12月、空自を「航空宇宙自衛隊」に改称する、という発表がなされ、驚かれた方も多いことでしょう。そもそもこのご時世、そろそろ宇宙が作戦エリアに含まれるようになるだろうということについては、誰もが考えていたとは思えます。実は既に2020年5月、空自に「宇宙作戦隊」が新設され、さらに今年3月には山口県内にも第2宇宙作戦隊が新編される予定です。これらを統括する宇宙作戦群は既に新編されておりませう。

とはいうものの、宇宙軍とはなんぞや？というのが正直なところでしょうから、まずは各国のスタンスを見てみましょう。

## ◆実は国ごとに異なる「宇宙」軍のあり方

日本のように、海軍や陸軍など独立した軍種として存在するのがロシア、フランス、イスラエルなどになります。ただしこれらはいずれも宇宙だけを対象とするのではなく、日本と同様、空軍を拡張したものであり、空より上を担当する、という形に

なります。

これとは別の形として、イギリスのように統合司令部で宇宙分野を担当するセクションを有するというものがあり、ここでは陸・海・空の統合運用となっているようです。

アメリカはかなり特殊で、陸海空の3軍と海兵隊、沿岸警備隊の次に宇宙軍が組織され、さらには統合軍の中にも「宇宙コマンド」が編成されます。

また、中国には「戦略支援部隊」というものがあり、これは後方支援ではなく、宇宙エリアを担う組織として、陸海空軍に匹敵する独立した軍種で、人工衛星の運用管理から電子戦やサイバー戦も扱うという幅広いものとなっているようです。

## ◆宇宙軍の任務とは？

組織の成り立ちがそうであったように、宇宙軍の任務も国により差異はありますが、概ね現状では弾道ミサイル防衛やロケット発射、人工衛星の運用管理などが共通の任務であり、そこから宇宙という名称を用いているようで、少なくとも今しばらくは宇宙船を使い、侵略を企む宇宙人を相手にすることは無いようませう。

## ▼▼編集後記▲▲

先に述べた県内の空自新部隊の任務は、現在建設中の山陽小野田市の海自山陽受信所跡地に建設中のSSA(宇宙状況監視)レーダーを使用し、我が国の衛星を宇宙ゴミの衝突等から守る(意図的な行為含む)ものです。とはいっても地上からミサイルやレーザーをぶつ放すのではなく、ぶつかりそうなモノを見つけ出し、我が国の衛星を少し移動させるもので、以前から文科省にも同じような目的の部門が既に存在しています。

例によって、内容に関する責任は全て支部長にあります。特に規則等に定めているもの以外は私の個人的見解が色濃く反映されていますので、ご意見等ございましたら遠慮なくお知らせ下さい。